



今後の柳島交差点改良工事のスケジュール及び内容は？

そうか市民 吉岡 健 議員

問 今後の柳島交差点改良工事のスケジュール及び工事内容は？

答 事業期間については、車両の通行を確保しながらの作業に時間を要しているため、現在、期間延長の検討を進めている。

令和4年度から令和5年度にかけ、交差点周辺の水路整備を完了させ、順次車道の入れ替えや信号の整備を行い、

令和6年度末までに暫定的での交差点整備を完了させるとともに、電線地中化工事に着手する。

当該事業は事業着手から現在まで約20年を要しているが、令和9年度末までの工事完了を想定している。



山本教育長の教職員の働き方改革への見解は。

草加自民 田中宣光 議員

問 草加市の教職員の働き方改革の課題は。

答 時間外在校等時間、1か月当たり45時間以内を守り、授業準備等を行い、学校教育の質の維持向上を図ることは、極めて大きな課題であると捉えている。

問 山本教育長の教職員の働き方改革への見解は。

答 学校における働き方改革は、教職員の健康及び福祉の

確保と、学習指導要領等に示される質の高い教育の実現の両面を見据えて推進を図ることが必要である。これまでにない大変大きな課題であると考えている。学校における働き方改革の目的を踏まえ、時間外在校等時間の適正化を目指すとともに、教育委員会、学校、地域、保護者の方々と連携を図りながら、学校の教育力向上を図っていく。



交通安全対策に関する事柄について

公明党 石川祐一 議員

問 草加市で平成30年に行った仮設ハンプ等の試行的設置による実証実験の結果を基に、どのような活用がされてきたのか伺いたい。

答 事故が多発する清門中通りの清門町会館前交差点に令和2年1月に交差点ハンプを設置し、周辺環境への影響や速度抑制効果を注視している。

問 藤枝市では、交差点に進入する車両を識別し、発光ダ

イオードを点灯させ、別の車両や歩行者に注意を促すカーブミラーを設置する実証実験を行った結果、通過車両の平均速度が減少し、交通事故防止効果が確認できたとのこと。草加市でも実証実験を行っていただきたく思うが、市の見解は？

答 藤枝市の先進事例の経過や他自治体への広がりを見注視し、検討を進めていく。



安全通行確保のため、歩道の整備を！

市民共同 石田恵子 議員

問 市道2013号線における歩行者の安全対策は。

答 当該箇所は一部歩車道の分離がされておらず、速度超過が発生しやすい区間でもあり、歩行者の通行空間の確保は課題と認識している。グリーンベルトや注意喚起の路面標示の設置などに取り組む。

問 県道金明町鳩ヶ谷線の歩道の分断箇所の改善を。

答 当該箇所は道路管理者で

ある埼玉県が歩道整備のための用地取得に向け、従前から土地所有者と交渉を継続中しており、本市としても、引き続き県に整備促進に向けた要望を行っていく。



児童クラブの入室率の変化と要望への対応について

市民共同 佐藤憲和 議員

問 直近10年間の児童クラブの入室希望の変化は。

答 小学校の児童数は令和4年度が1万1,683人と10年間で1,934人減少している。一方、児童クラブの入室希望児童数は2,654人と10年間で1,165人増加し、入室希望率は22.7%と10年前の約2倍となった。1年生の入室希望率は2割から4割に上昇しており、児童クラブの必要性が

高まり続けている。

問 父母会からの要望と対応状況は。

答 令和3年度から現在までに谷塚、花栗南、青柳児童クラブの各父母会から要望書を受けており、主な内容は待機児童に伴うクラス増設、常設児童クラブと第2児童クラブの一体運営、既存施設の整備などで、引き続き関係者と検討・調整を行っていく。



学校給食の無償化とオーガニック化を進めるべき

市民共同 斉藤雄二 議員

問 学校給食の無償化に必要な予算と無償化を進める考えは。

答 学校給食の無償化には約8億8,000万円の予算が必要。多額の財源が必要であり、給食費の無償化の実施は難しい。

問 オーガニック食材の効果などをどのように考えているのか。

答 有機農産物は原則として、化学的肥料や農薬を使用

しない生産基準で生産されており、現在使用している食材と同様の安全性を有するものと考えている。

問 学校給食にオーガニック食材を導入すべきではないか。

答 本市の学校給食の中で実現できることを検討する。